

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

1. 申請団体情報	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 担当部署の属性をお選びください </div> 記				
1-1. 申請団体					
団体名	大分県			代表者名	大分県知事 佐藤樹一郎
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	企画振興部 統計調査課	連絡先電話番号	097-506-2495
担当者役職	主事	担当者氏名	藤澤 弘貴	連絡先E-mail	
住所	870-8501 大分県大分市大手町3丁目1番1号				
1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)					
団体名			連絡先部署		
担当者氏名			連絡先電話番号		
1-3. 支援を求める内容					
支援方法	職員向け啓発・研修(単独)	事業名	統計データ利活用促進事業		
概要	職員の統計リテラシーの底上げを目指した人材育成を行うため、職員が、EBPM・データ利活用の重要性を理解し、データに基づく政策立案の実践力を習得する機会となる研修を実施していただきたい。				
支援を求める分野	EBPM				
2. 地域情報化アドバイザー派遣実績					
2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	094K	令和6年9月10日	フォローアップ	オンライン
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年9月13日	フォローアップ(オンライン)	10時00分	12時00分	
			活動時間(分)	120	
2-2. 派遣場所	会場名	オンライン		最寄駅	オンライン
	所在地	オンライン		最寄駅からの交通手段	オンライン
3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望 支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。					
アドバイザー	下山 紗代子				
評価	大変よい				
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	<ul style="list-style-type: none"> 受講者からの質問について、「Well-being指標」が作成された経緯等に触れながら、数値の特徴や使用する際の注意事項、効果的に活用するためのアドバイスを加えて回答していただくことができた。また、他の自治体や団体の先進的な取り組みについても幅広い知見から情報提供していただくことができた。 事務局との研修の振り返りについては、アンケート結果を参考にしつつ、受講者が研修に取り組む姿勢等についてコメントをいただいた。今後に向けても、事業の課題・問題点を解決するために有効と思われる複数の手段を他の自治体の状況を交えてご紹介いただくことができた。 				
アドバイザーへの要望事項	受講者アンケートではほぼすべての職員が「業務に役立つ」と回答したほか、「全職員に受講してほしい」、「管理者向け研修に盛り込んでほしい」などの意見があった。このような研修の必要性を再認識することができ、今後も継続していく必要があると考えているため、下山アドバイザーには今後も引き続きご支援をいただきたい。				
4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果					
4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】			合計人数	6人
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	6			
4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果					
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	「大分県DX推進戦略」では「データに基づく政策立案」が明記されており、関係課が庁内にEBPMの浸透を図るための事業を展開している。当課においては、先進事例の紹介や初歩的なデータ利活用手法についての研修を実施しているが、受講者アンケートには実践的なデータ分析の研修の開催を希望する意見が多い。そのため、職員が統計データから実際に地域の現状や課題を読み解き、分析結果を政策立案に活用できる能力「統計リテラシー」の底上げを目指した研修に取り組む必要がある。				
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	職員が、アドバイザーの支援を通じて習得したEBPMおよび地域情報化についての知識・スキルを活用して「データに基づく政策立案」を実践することで、大分県DX推進戦略に掲げる「一人ひとりのニーズに合った多様な幸せを実現できる社会の実現」を目指す。				

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	受講者からの、研修に対する質問や業務に関連した質問に回答していただいた。 また、事務局実施のアンケートや研修当日の全体を通しての振り返りのコメントをいただき、今後さらに事業の課題・問題点を解消していくために効果的な手段について情報提供していただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> ・質問に対して、背景や注意事項を交え、より質問者の理解が深まる回答をしていただくことができた。 ・研修に対して、講師が感じたことを共有でき、客観的な振り返りができる良い機会となった。 ・庁内へEBPMのさらなる浸透を図るために、他の自治体のEBPMの取り組み状況や実施している研修をご紹介いただき、多くの事例を知ることができた。 	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 (フォローアップのため具体的な成果物は無し)	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	なし。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 フォローアップのため、未実施。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
4-4. 事業の最終的な目指す姿	今年度の研修では希望者を対象に研修を行ったが、受講者アンケートでは「全職員に受講してほしい」との評価もあり、規模を拡大して「統計リテラシー」の底上げを目指した研修の開催に取組んでいきたい。 今回の研修を通じて習得したEBPM及び地域情報化についての知識・スキルを活用して「データに基づく政策立案」を実践することで、大分県DX推進戦略に掲げる「一人ひとりのニーズに合った多様な幸せを実現できる社会の実現」を目指す。	

具体的にご記入下さい。
支援を受けた事業が成果に
因(自治体側に内在していた成

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

